

⑤農商工連携による新たな生産流通システム開発モデル事業

・財団法人沖縄県産業振興公社（現：公益財団法人沖縄県産業振興公社）

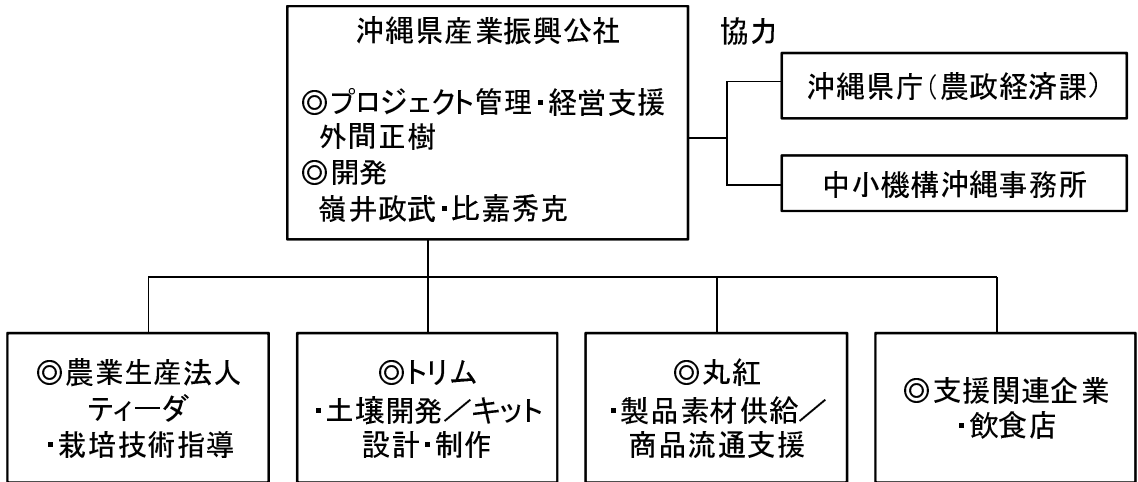
本事業では、沖縄県内企業独自製造の廃ガラスリサイクル製品「多孔質軽量化資材（スーパーソール）」と県外製造品「ヴェルデナイト（ビートモスとモンモリロナイトの特殊コーティング土壌）」をコラボレーションした栽培土壌を用い、軽量化土壌ベンチ方式で、地域特産野菜（薬草）栽培システムを営農家と連携して構築しました。

本事業を通して、軽量化人工土壌ベンチ方式による栽培システムの開発方法・ノウハウ、野菜類栽培の育成評価・検証方法、販路開拓・マーケティングの検討に関する知見が蓄積されました。

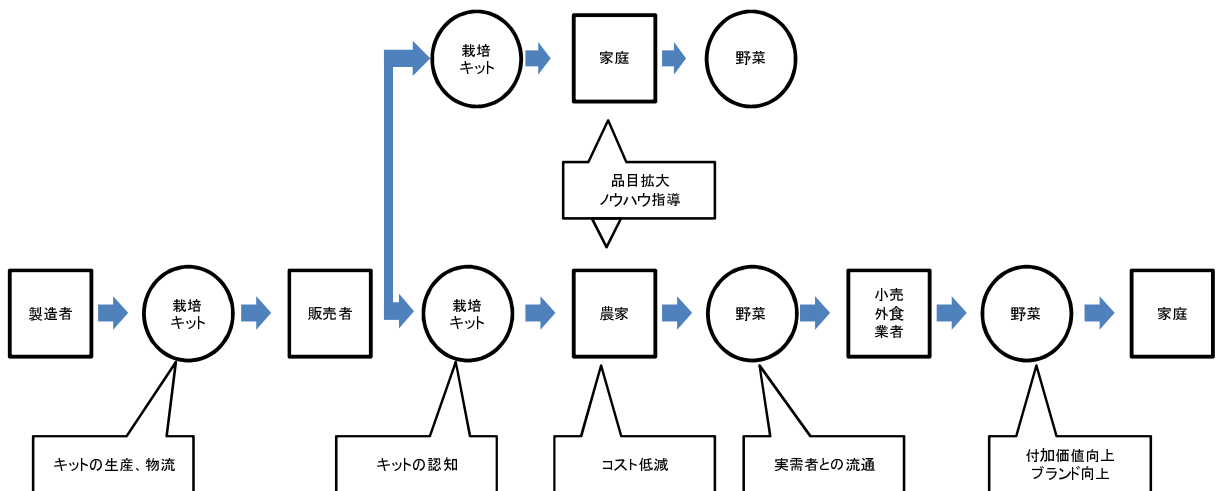
6次産業化とは1次製品の付加価値を高めるために、農業生産者から2次産業である食品メーカー、3次産業の小売業へと展開を図るのが一般的ですが、本事業は、廃ガラスリサイクル品の活用・栽培キットの製造という起点から、1次産業の農業生産者との連携、県内外の販売ルートへと展開を図るという独自性の高いモデルといえます。

財団法人沖縄県産業振興公社
 (現：公益財団法人沖縄県産業振興公社) による
 流通システム開発事業の実施体制図・栽培キット流通図

【実施体制図】

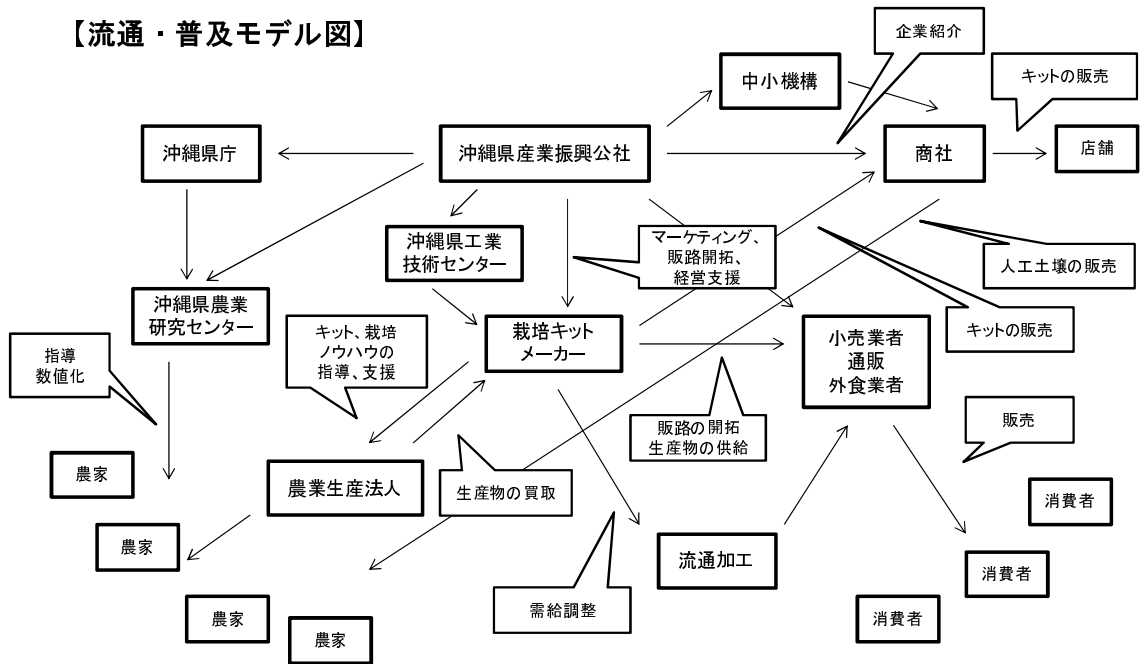


【栽培キットと生産物（野菜）の流通】

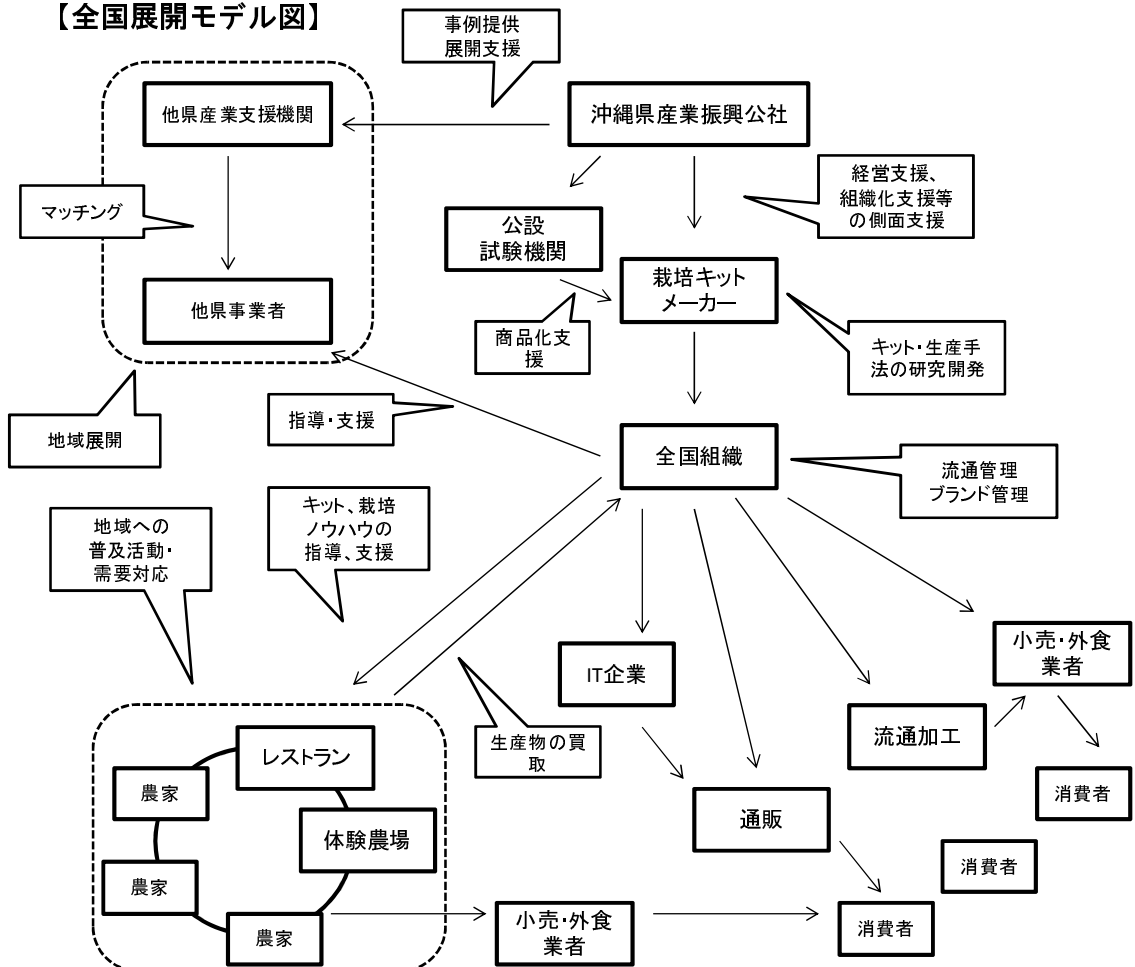


財団法人沖縄県産業振興公社
 (現：公益財団法人沖縄県産業振興公社) による
 流通・普及モデル図・全国展開モデル図

【流通・普及モデル図】



【全国展開モデル図】



新たな生産流通システム開発のフローチャート

項目名	生産から流通までの一体化したシステム開発の方法	
目的・概要	地域内の中小企業が持つ技術を活用して、工業から農業生産者および地域内外の商業者までつなぐことで、地域内経済の循環をよくし、地域経済を活性化させる。	
業務手順	<p>フロー</p> <pre> graph TD A[1. 栽培キットの商品化] --> B[2. キットによる栽培実証] B --> C[3. 県内モデルの構築] C --> D[4. 県内の他地域への横展開] D --> E[5. 地域間をつなげる全国区組織の構築] </pre>	<p>業務要領・留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品としての販売に耐えうるよう、品質・価格面のブラッシュアップを行う。 ・当該キットを使用して栽培し、栽培ノウハウの蓄積やキットの改良を行う。 ・トリムを中心に、キットの研究→製造、栽培の研究、商品（野菜）の販売、消費者への認知等、地域完結型のモデルを構築する ・同モデルを他地域に横展開する。その際にノウハウの指導を行う。 ・同商品（野菜）の全国レベルのブランド形成や流通をコントロールする組織を立ち上げる
その他		
連絡先	<p>(団体名) 財団法人沖縄県産業振興公社 (部署名) 経営支援部 (窓口担当者) 主事・外間正樹 (電話番号) 098-859-6237 (Eメールアドレス) hokama@okinawa-ric.or.jp</p>	